

広報
11月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



マリーナ・ベイ・サンズ／シンガポール

〈 主 な 内 容 〉

時の視点		東京都製本工業組合との親睦ゴルフ	15
家庭紙古紙の需給と市況	2	青年部幹事長 梨本竜範	
直納部副部長 小林健二		青年部と製本二世連合会との交流会	16
古紙の市況・特需は収束致しました	2~3	青年部幹事長 梨本竜範	
直納部副部長 上田晴健		印刷産業青年連絡協議会サミット	16~17
静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会	3~6	足立支部 近藤英彰	
東資協との懇談会	6~7	〔組合員紹介〕 文京支部 山田祐康	17
海外メーカー工場視察研修報告		城北支部 辻 忠敏	18
パートⅠ マレーシア	7~10	組合員の広場	
パートⅡ シンガポール・マレーシア	10~11	大同生命保険株式会社上野支社の紹介	18~19
「マレーシア板紙メーカー工場視察研修会」		支部スケジュール	20
荒川支部 新井国男		お知らせ	20~21
パートⅢ シンガポール	12~14	「12月会議・催事予定」「古紙価格」「訃報」	
荒川支部 廣田圭吾		会議概要〔9月・10月〕	21~30
清風会ゴルフコンペ開催	14~15	表紙写真募集 広報部部长 清水弘允	30
清風会幹事 廣田圭吾		編集後記 広報部部长 清水弘允	31
		広 告	32

時の視点

家庭紙古紙の需給と市況



直納部副部長

小林 健二

3月11日に東日本大震災及び福島原発事故の大惨事が発生した為、製品価格の修正交渉が中断し緊急支援物資としてトイレット紙、ティッシュ等の衛生用品が、各家庭紙メーカーから出荷されまして製品在庫が急激に減少し、更に買だめ現象が発生し瞬間的に、各販売店の店頭から製品が姿を消して大騒ぎになりました。その後メーカーの生産増により供給体制が整い各店頭で並べられ落ち着きを取り戻しました。価格も安値が無くなりある程度の価格設定が表示される様になり製品市況が、今後継続され好転するものと期待しました。

また原発事故の影響で節電しなければならず、富士地区の家庭紙メーカーは輪番停電を実施し、この結果操業度が落ち生産減となりましたが夏に向かう頃から需要が低迷し製品在庫の増加という結果になり現在に至っております。

また東日本大震災、原発事故により春先に実施予定でした製品価格の修正交渉が中断されたままでしたが改めて9月21日から再度の価格修正の発表がありました。然しながら現段階まで大変難航しているとの話題がよく聞かれます。是非目標達成の為頑張ってくださいと心から思っております。

現在の家庭紙古紙は、洋紙、板紙にも使用され

ており家庭紙専用古紙でなくなり且裾物3品同様輸出可能な上物古紙となっています。家庭紙古紙は大別しますと産業古紙とオフィス古紙に分けられます。産業古紙は景気が低迷のままだ回復には程遠く印刷関係の需要減によりここ数カ月の古紙発生は20%前後の減少になっております。今後リーマンショック以前の発生を期待したいのですが現状期待がもてる市況ではないと思われま

す。出版ルートも電子書籍等の影響だけでなく出版物の購買力が低迷している様に感じられます。その為製本業界のルートから発生します古紙も減少したままで、まだまだ回復には時間がかかりそうです。オフィス古紙の発生は産業古紙より若干減少幅は少ないのですが10%位減少していると考えられます。商品の販売不振で伝票作成の減少と枚数の削減又社内の連絡等がPCデータの共有利用でペーパーレス化が多くなっているのも一因と推測されます。

この様に古紙全般の発生減に拘わらず家庭紙メーカーの古紙在庫は操業度の関係でタイト感はありません。製品価格の修正達成と需要回復により順調に出荷され製品在庫が減少し再び生産増になればと願っております。

古紙の市況・特需が収束致しました



直納部副部長

上田 晴健

大震災後、比較的安定していた需給環境に変化が出てきております。

春先には震災の影響もあり、家庭紙製品も一時的に特需によって需要が盛り上がりました。オイルショックの再来を思わせるような荷動きで一時的にトイレットペーパーがスーパーの棚から消えてしまったことは記憶に新しいところです。家庭紙メーカーの製品在庫もこの時期大幅に減少し、製品値上げの下地は整いつつありました。価格修正のアナウンスも行い家庭紙メーカーの採算も好転すると思われました。その後家庭紙製品は供給過多により、発表している値上げに関しては混迷を深めております。(震災後、流通業者が海外から家庭紙製品を輸入したのも少なからず影響しているものと思われまます)。

また、洋紙、板紙とも製品値上げの発表を秋口に行い、ユーザー各社と価格交渉をしているところです。それに伴いダンボール古紙に関しては2円程国内価格が上方修正されました。(当時輸出価格との乖離が3円ほどありました)

現在、洋紙・板紙・家庭紙の各メーカーは製品価格の上方修正が原燃料価格の高騰の元、発表されております。本来、製品値上げのタイミングでは古紙の需給はタイトになるのが常です。家庭紙原料におきましては、春先放射能問題により一時的に低迷したミックス古紙・込頁の輸出減、それに伴い国内への還流現象が起りましたが特需が収束致しました。裾物についても主に中国の需要が国内市況の調整弁として機能しました。しかし10月中頃から輸出の需給が緩み相場が下落しております。日本の需給環境の調整弁となっていた輸出は中国製品市況の悪化、タイの大雨による洪水被害などで需要の減少がおり、輸出量の減少が予想されております(旧正月までは好転にくいのでは?)。国内外市況の需給の改善には数ヶ月を要する可能性もあります。

古紙は発生増の時代から発生減の時代に移行しております。特に産業古紙の発生は年々減少を続け、

各業者は抜きの減少によって経営の基盤が揺らいでおります。取扱量減の中での需給環境の悪化で集荷、問屋ともより一層のコスト削減、粗利の改善が急務となっております。

静岡県紙業協会家庭紙部会 との懇談会

[平成23年10月28日(金)午後2時00分～]

於) 富士工業技術支援センター

出席者：静岡県紙業協会家庭紙部会 19名

(内、家庭紙メーカー 16名)

静岡県製紙原料商業組合 9名

東京都製紙原料協同組合 11名

三団体代表挨拶

イデシギョー (株) 井出会長

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

家庭紙製品の価格修正に期待している。なかなか市況が好転しないのと、震災後、トイレットペーパー、ティッシュペーパーの輸入品が増えている。5月までに少しずつ減少してきたが、8月は逆に前年に比べ増加している。量的にはティッシュペーパーの方が増えているようである。中国からの再生紙の輸入は、以前では考えられない事だったが、円高、燃料の高騰、節電、法人税などの税金、安い人件費等で輸入品が増えてしまったのではないかと考えられます。現在は製品の価格修正の話題が出ると輸入品が増えてしまう感触があると思われています。製品の価格修正を期待しながら現在の製品価格も維持できるよう願っております。

近藤理事長 [東京都製紙原料協同組合]

まず初めに、紙業協会の皆様方には今回、古紙センター加入問題で関東地区が、皆様の十分なご意見を聞かずスタートしてしまった事を古紙センター及び関東・東京の組合として深くお詫び申し上げます。本件につきましては本日、会議終了後に3団体の代表者会議を持って新たにスタートしますので宜しくお願い致します。

欧州を中心とする信用不安、昨日新たな対策が発表されましたが、こういった事から世界的に景気が後退しておりまして、歴史的な円高、タイの洪水による日本企業の影響など予期しない話ばかりが続いております。

我々古紙業界も日本の人口減少やペーパーレス化により、発生の減少がここ数年続いており、古紙市場、特に産業古紙の市場の収縮傾向が強まっております。又、海外の古紙市況が直接国内古紙の動向にも影響を及ぼしますが、昨日開催された古紙センターの業務委員会の中では「目先に捉われず国内を安定させたい」と言う力強い意見も出ておりました。家庭紙の製品もこのような社会情勢の中、大変厳しい状況とご推察しますが、本日も情報交換をさせて頂き、今後も計画的な形で両業界が協調できれば有り難いと思います。

佐野理事長 [静岡県製紙原料商業組合]

家庭紙メーカーの古紙センター加入については、その進め方を巡って誤解が生じた為、改めて一からスタートする事となりました。三団体においては大事な問題ですので慎重に検討していきたいと思っております。

新聞で読んだ記事ですが貧困について、本当の貧困とは今日食べる物が無い状態や、自分の着ている衣服がボロボロになり明日は擦り切れて寒さに

耐えられなくなってしまう状態だと書いてありました。家庭紙メーカーでは、家庭紙製品の輸入が大変多くなってきて非常に厳しい局面を迎えているというお話がありました。貧困とは、先に述べたレベルであると言う事を踏まえまして本日の情報交換をさせていただきたいと思っております。

古紙全般の市況について

赤染直納部部長 [東京都製紙原料協同組合]

震災後、東日本が壊滅的な打撃を受けて、東北地区の回収が激減しました。西日本では震災直後、裾物3品を扱う各メーカーは操業をフル稼働しました。現在は、古紙原料の発生も減少しメーカーの生産も減少しています。輸出は、9月までは内外格差が出ており国内よりも高い価格で輸出されておりました。10月に入り中国への輸出は、欧州問題やアメリカの経済減速等の影響で、国慶節以降は低調ぎみとなっております。裾物を中心とした関東商組の共販輸出も価格的に折り合いがつかず入札が成立しないケースが出てきました。中国での白板の輸出は新マシンの増設で引合いが良い状態となっております。

家庭紙原料について

小林委員長 [東京都製紙原料協同組合]

産業古紙は低い発生状態が続いており、全体に10%程度の落ち込みである。古紙問屋の在庫はランニングストック状態である。家庭紙向けの古紙の在庫は6月～9月にかけて前月を下回る状態が続いている。今後、家庭紙メーカーには迷惑をかけないように納入していきたい。

オフィス系古紙について

高橋委員 [東京都製紙原料協同組合]

オフィス系の古紙の発生も10%前後の減少である。オフィス系の回収は産廃業者がメインとなっている。発生はゴミの発生量と比例しており、ゴミが少なくなれば紙も少なくなる状況である。

集荷関係より

松井副理事長 [東京都製紙原料協同組合]

発生は少ない。産業古紙の発生は2007年がピークであった。その後、印刷関係、製本関係からの発生は減少している。

集荷業者は、回収先からの発生が少なく仕事が減ってきている。集荷としては、今後、このような状態が続くと大変困る。

静岡の状況について

[静岡県製紙原料商業組合]

雑誌の回収が減少してきている。チラシは増えてきている。

上ケントの発生も落ちてきている。色上も発生が低い状態で安定している。オフィス系はオフィス自体が少ないため低位安定。全体的に上質古紙の発生が少ない。

家庭紙メーカーからの現状と意見

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

製品の価格修正を期待している。夏場に電力削減や岳排により操短をした。その後も製品の売れ行きが悪く減産を余儀なくされた。家庭紙メーカーは製品の価格修正を期待しているが、製品在庫が多すぎる状態にある。これから年末にかけて小売店での特需があり低価格の販売が予想されている。古紙原料の使用量も減少してきている。各家庭紙メーカーでは、古紙原料の入荷は順調で、

発生が少ないようだが生産も少ないので古紙原料の在庫は不足していないのが現状である。

質疑応答

M：メーカー G：原料問屋

G-Q：中国から輸入した家庭紙製品は問題ないのか？

M-A：最近の物は商品として使えない物はないようである。しかし、水が良くない点と加工の際、人が手を触れて袋詰めをするので衛生面での心配が考えられる。トイレットペーパーはサイズが小さい物が多い。

G-A：震災後のトイレットペーパーの製品輸入について

M-A：震災直後、家庭紙メーカーに製品はあったが輸送手段がなかった。消費者のあまりにも過剰な購買行動で瞬間的な対応が難しかった為、小売店では輸入品で対応した。半年契約が多いので、現在は継続していない所が多いようである。

G-Q：TPP問題は実施した場合、紙の業界では、どんな影響が出るのか？

M-A：家庭紙については問題が少なく影響はないと考えられる。洋紙は問題があると聞いている。

G-T：トイレットロールのセット販売数にばらつきがあるようだが？

M-A：通常12ロールが主であったが18ロールも増えている。販売店の形態や場所によって違ってくる。ドラッグストアやスーパー等の小規模販売店では、ほとんどが12ロール。郊外のホームセンター等の大規模販売店では、置き場所も広いので18ロールを販売している。

東資協との懇談会

[平成23年9月28日(水)] pm4:30～
於) 組合会議室

参加者：東京都資源回収事業協同組合 14名
東京都製紙原料協同組合 12名
司 会：高山総務部長(東京協組)

代表挨拶

近藤理事長(東京協組)

昨年の会合時に管総理大臣が誕生して以来、混乱した民主党政治が依然として続いております。この一年間、相撲の八百長問題、中国漁船の尖閣諸島問題、鳥インフルエンザや口蹄疫問題がありました。3月の東日本大震災は原子力発電所事故を伴い大変な事態となっております。

我々業界も大手メーカーが被災し原料がストップしたり、放射能問題で中国輸出が一時止まったりと大きく影響を受けております。集荷現場に於きましても、長年懸案だった抜き取り問題も前進し始めましたが、昇華性転写紙や感熱発泡紙の混入によるメーカーでのトラブルも多発しております。本日は、これらの問題について情報交換させて頂ければ有り難く思います。

吉川理事長(東資協)

昨年の会合以降、ひとつとして良い話がない。マイナス面を背負って、これから日本がどうなるのか。業界がどうなるのか危惧するところであり。以前は紙がなければ鉄があったが、現在は、そのような状況ではない。本日は、情報交換を通して、お互いに何か掴めればと思っております。



1. 古紙業界の動向

古紙全般に関する現況

赤染直納部部长(東京協組)

一般的市況で国内は、東日本大震災により東北の3工場が被災し福島でも操業停止が続いていた。ここにきて一部、稼働が始まり、紙・パルプ業界は元に戻りつつある。洋紙の生産は、前年対比で減少しており回復していない。新聞用紙の生産も減少している。印刷、製本業界の不況から洋紙は低調。古紙の発生も低調で低いバランスで安定している。段ボールの生産は、メーカーがフル操業。段ボール原紙の在庫が一時的に増えたが、現在は適正在庫に近づいている。段ボール原紙は、一部メーカーが段ボール古紙の価格修正を発表。輸出市況は、円高により弱含み。中国は需要は強いが価格面での折り合いが良くない。

2. 産業古紙の現況

上田直納副部长(東京協組)

産業古紙の発生は悪く、特に雑誌が悪い。出版関係は右肩下がりの状態が続いている。

切付：マンガさい落は、低位でバランスしている。家庭紙：模造、ケントの発生が悪い。震災後、1ヶ月くらい特需があった。家庭紙は、製品を目一杯生産し、大手ドラッグストア等は、品不足のため製品を大幅に海外に発注した。潤沢に製品が

揃った頃、海外から輸入品が入ってきた。現在は、消費者の備蓄により製品販売は低下している。

3. 資源回収業界の動向

(東資協)

発生は全体に落ち込んでいる。新聞の発行部数も少なくチラシも相変わらず少ない状況。古紙の持ち去り問題は、関係団体や行政、その他で協力しあい対応していく。特にパトロールが効果的なので、コスト面を考え力を入れていく方針である。古紙の入札に関しては、入札価格の差が大きいので、コスト計算をふまえた入札を実施するよう役所に出している。

4. その他

昇華転写紙や感熱発泡紙混入により製品にトラブルが発生しているので、回収時に事前に防げれば対応をお願いしたい。



海外メーカー工場視察研修報告 パート I マレーシア

■ GS Paper & Packaging Sdn Bhd

訪問日:2011年9月19日(月) 9:40～13:00

先方者:佐野成人 社長 [Oji Paper Asia Sdn Bhd 社長(王子製紙(株) 常務執行役員)]

長谷部明夫 副社長 [王子製紙(株)出向]

寺垣 毅 副社長 [丸紅(株)出向]

小林 進 GM [王子製紙(株)出向]

佐野昌人 GM [王子製紙(株)出向]

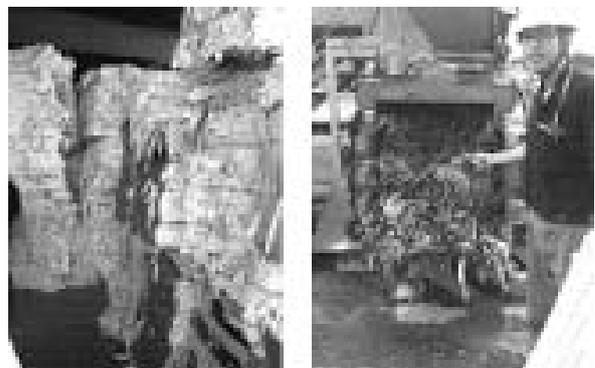
山口智之担当 [王子製紙(株)出向]

Mr Sia・ Ms Nang

見学工程: Mr Sia氏より山口担当通訳の下 Welcome speechの後、組合を代表して近藤理事長の挨拶。長谷部副社長・寺垣副社長より GSPP 社の会社説明・質疑応答。



別の会議室に場所を移して佐野社長の挨拶、小林 GMより工場の外観説明。その後、工場内の古紙ヤード(上物古紙)見学、抄紙工程(PM1・PM2)の見学、焼却炉の見学。



バスでBOX工場へ移動して、佐野 GMより製品説明、加工工程を見学。



経緯：

- 1992年 製紙工場 PM1 設立
- 1996年 製紙工場 PM2 設立
- 1998年 段ボール製品の製造事業開始
- 2000年 Central Box 工場設立
- 2002年 Northern Box 工場設立
- 2003年 廃棄物処理施設設立
- 2010年3月 GSPPの持株会社PBHL (Paper Box Holdings Limited) より王子製紙(株)が全株100%取得。
- 2010年10月 丸紅(株)が王子製紙(株)より25%の株を取得。

工場概略：

元々はマレーシアでカジノ経営をしていた企業 (Genting Highland) が、コアビジネスでは無くなったとのことより同工場を売却。敷地面積80万㎡の土地にGSPP関連施設等で35万㎡を使用している。従業員数は約1,200名。

① 古紙について

GSPPはマレーシア国内にフランチャイズ契約 (土地や建物はGSPPが所有) を結ぶ 古紙ヤー

ドを32ヶ所の所有している (国内最大のリサイクル回収網)。マレーシアでは古紙を分別する習慣がない為に、ゴミ置き場から回収してくる古紙などは水分や異物混入が多く品質が大変悪い。ちなみに段古紙における水分許容率は18%としている。

白ライナーを生産している為に上物古紙も購入している。但し購入量は500tと少量である。種別は糊のある・なしでA-grade・B-gradeと分けられており、ケント (糊なし) やトイレットペーパーの切れ端がMIXされたボール品が大半。

② 抄紙・原紙について

PM-1 生産能力：225千t/年 生産品種：ライナー原紙・中しん原紙 3層抄きオーストラリアの1974年製中古マシン (抄き巾4,300mm)

PM-2 生産能力：55千t/年 生産品種：白ライナー原紙・中しん原紙 5層抄き小林製作所の1986年製中古マシン (抄き巾3,300mm)

GSPPはマレーシア国内最大の製紙メーカーであり、原紙生産量・製品販売量ともに国内シェア30%を占めている。ライナー原紙だけに限ったシェアは40～50%となっている。また中しんは、国内に数社原紙メーカーが存在していることから、GSPPではライナー原紙に特化した原紙生産となっている。

段原紙の1/4は自社製品として、残りは外部販売。ちなみに同社のBOX工場で使用する段原紙の外部調達比率は50%で、TOTAL70千t/年の原紙能力を持っている。

③ 焼却施設について

日本のNEDOによる助成を受けて施設を設立。製紙スラッジ、木くず、プラスチック、廃水スラッジなどをMIXさせて200t/日焼却されており、約18t/日の蒸気が作り出されている (工場内

に必要な蒸気量は60～70 t / 日)。バイオマスボイラーではない為に発電施設ではない為に電気はGenting Highlandが同じ敷地内に発電設備を擁しており、そこより購入をしている。

④ 原紙保管倉庫

日本ではあまり見ることができないライナー原紙のゲージ倉庫を、2001年に設立し27,000 tを保管する能力がある。

⑤ BOX工場について

・製紙工場の隣にCentral工場があり、他にもNorthern Box工場（ペナン州）を所有。

・Central工場にはコルゲータ1台・フレクソ印刷機8台・加工機2台がある。

・段ボールシートはダブルフルートが多く、全体の40%を占める。

・マレーシアでは家電関係の段ボール箱には直接印刷することが多い。最近は様々な印刷需要が高まっており、GSPPでは印刷技術向上に努めている。販売先は日系家電メーカーが中心の為に品質基準が高いが、それに答えることができるのが同社の特徴。その結果、同社の持つ段ボール箱への印刷技術に対してAFTAより2009年・2010年と2年連続でGold Awardを受賞している。また最近では、日系以外のハラールマーク表示を必要とするイスラム系の食品会社への販売が増えてきている。

・加工場内の人件費を安く抑える為に他国(ネパール人が多い)からの労働者を採用している。

⑥ 質疑応答（回答は佐野社長）

・マレーシアの特徴は？

隣国タイやベトナムと比べて同国は単一民族でない、多民族国家であることから貧富の差が大きい。日本の特徴としては高度成長期より中流志向

を強めてきていたが、近年では薄れ始めてきている。今後は貧富の格差がどこの国でも大きくなっていくことが予想されることから、企業はどういった消費者をターゲットに据えるかによっておのずと成果が決まってくるだろう。

・環境対策は？

マレーシアでは2020年に先進国入りするという“ビジョン2020”を掲げている。弊社は排水設備や焼却設備などを積極的に導入した先端をいく企業である。しかし、同国のライバル企業では役人へ裏金工作をして、堂々と廃水などを垂れ流しするようなどころがまだまだ多いというか普通となっている。“道路にポイ捨てをすることは当たり前”という国民慣習が根付いており、まだまだ発展途上である。

・古紙需給は？

マレーシアには我々の直営ヤードを含めて約100ヶ所の回収拠点があるといわれている。品質面では国内古紙は水分が多いことと、とにかくプラスチックの混入率が高いことが悩み。主観では日本の3倍は悪いように思われる。その為、GSPPが主体となってマレーシアにおける古紙品質規格を策定している。尚、今年に入りマレーシア国内古紙価格は上昇しており昨年比40%増となっている。要因はライバル企業が中しんマシンの新設を行なった為である。ちなみに段ボール古紙は国内発生量だけでは約20%不足しており、シンガポールからの輸入が多くなっている。また、製品需要低迷により製品価格は8月末より下落基調となっている。

■ New Foo Sun Bangi Sdn Bhd

訪問日… 2011年9月19日（月）15:00～16:00

先方者… Mr cheng

概 要… 設立 1997年 敷地面積 4,407㎡

取扱量… 2,500 t / 月

設備… ベーラー1台(能力8t/時)、40t台貫、フォークリフト4台、ショベル1台
ROROトラック(アームロール車)10台、ROROコンテナ200台

取扱品種… OCC、NDLK、MWA(オフィス古紙)、BW(台紙)、PW(ケント)、MC(MIX)、ONP

回収先… 印刷工場・段ボール工場・鉄スクラップ業者。

同社の近くにはSONYやDENSOなどが多く集積している工業団地内にある。

特徴… 発生元の企業との契約期間は1~3年で、入札方式をとるところが多い。入札の仕方としては、契約期間中に想定される数量×購入単価の合計金額で競う。古紙代金は合計金額の総額を前渡金として渡す為に、非常にリスクが高い。仕入の80%がこの方式をとっている。但し、製紙メーカーへの販売は日本と同様。

土地や建屋はすべてGSPPが所有。原料の販売先は基本全量同社となるが、一部は外部へ販売。

古紙相場(単位:リング/t 1リング≒26円)

品種	仕入価	／	売価
ONP	RM500	／	RM545
OCC	RM500	／	RM530
MIX	**	／	RM300

**仕入価はものによって幅があるとの事。



海外メーカー工場視察研修報告 パートII シンガポール・マレーシア

「マレーシア板紙メーカー工場視察研修会」

荒川支部 新井 国男

9月17日初日、成田空港に9時集合10時55分シンガポール行きの飛行機に乗る。シンガポールへの所要時間は、7時間15分とあって、到着したのは夕方でした。気候は、日本の夏と比べれば、それほど暑くは感じなかった。今回の参加者の中で、タバコの喫煙者は約半分、

事前の説明会でツアー会社の方から、タバコに関する法律がとても厳しい国だと聞いていたので、シンガポールに滞在中は、あまり吸えないと覚悟していた。だがなんてことはない、入国時の関税審査は、だれも税金を払わず進め（1本から課税対象）、街中でもセブンイレブンの前などに、灰皿が設置してあり、喫煙者の人たちはホットしたと思う。シンガポールの面積は710.3 km² 東京23区とほぼ同じ、民族構成は華人系75%、マレー系14%、インド系9%、そのほか2%だそうだが、滞在したホテルやオフィス観光名所が中心に密集している為、外国人が多く見られた。マーライオン、サンドスカイパークなどを見学し、夕方板紙メーカーのあるマレーシアに飛行機で向う。19日9時ホテルロビーに集合し、そこで今回の視察の段取りを組んでくれた丸紅ペーパーリサイクルの村田さんも合流し、バスにてGSペーパーに向う。入口では、王子製紙(株)より出向している長谷部副社長、丸紅(株)からの寺垣副社長などからの出迎えを受ける。会議室に案内され、佐野社長挨拶、その後、ヘルメット、安全靴などを着用し古紙ヤード⇒古紙投入所⇒PM1号機（1974年オーストラリア製）⇒PM2号機（1986年日本製）⇒水処理所⇒原紙保管庫⇒スラッジ施設⇒焼却施設⇒ボックス工場の順で見学していく。段ボールにおいては、ソニー、シャープ、パナソニックなどのメーカーから、直接発注を受け原紙から、印刷、抜き、納品に渡る工程を施設内ですべて行えるようになっていた。



工場見学を終え、会議室にて佐野社長との質疑応答で一番印象に残ったのは、納入される古紙のプラスチック混入率が30パーセントもあるということ、日本の古紙では考えられない禁忌品の混入率だった。日本でも十数年前の一般家庭のゴミ袋は、黒のビニールで中が見えずなんでも捨てられる状況でした。ゴミやペットボトル、古紙の分別などは、行政などが動き何年もかかり一般家庭や、企業などのモラルが浸透してきたのだと思う。マレーシアの民族構成はマレー系66%、華人系26%、インド系8%で、国教はイスラム教だが、他に仏教、ヒンドゥー教、キリスト教などで、多民族構成になっており、マレーシアの国自体がリサイクルの意識を高めていっても、一般家庭までのハードルは高くなかなか解決出来ないように感じた。その後、GSペーパーの方々と昼食をとり、GSペーパー傘下の古紙ヤードの見学に行く、マレーシアでは、古紙発生元企業との契約は、入札方式が一般的らしく長いところでは、3年間の発生量を想定し、前払いで企業に支払うので、非常にリスクが高いことが懸念される。古紙ヤードにて、GSペーパーの方々と別れ、翌日マレーシアの首都クアラルンプールの市内を見学し、帰国する。帰りの飛行機は、台風が近づいていた為かなり揺れることも懸念されたが、あまり揺れず無事到着する。今回の視察は、国内とはまた違った意味で、大変勉強になったと思う。



海外メーカー工場視察研修報告 パートⅢ シンガポール

荒川支部 廣田 圭吾

成田から8時間弱、シンガポール・チャンギ国際空港に降り立つ。事前に聞いていた、持ち込みタバコへの高関税に戦線恐々としながら。無申告は罰金30万円以上とのこと。が、スーツケースをコンベアから引き上げると、すぐ目の前にタクシー乗り場が見える。成田のような税関ゲートは見当たらない。仕切っているのは幅2メートルほどの簡易ゲート。日本の地方空港よりなんだかショボイ。そこにはラフな服装のオヤジ2人が笑いながらデカイ声で話してるだけ。「I wish pay customs on cigarette」と善良な観光者を演じて話しかけると、会話の邪魔をするなどばかりに「That's Ok」え？いいの？「Jesus!」どうやら、旅客持ち込み程度はスルーらしい。コラコラ、近ツリさん、話違うやん。ちなみにシンガポールは1箱900円。成田のDUTY FREEで買ったときゃ良かった。

市内へバスで向かう。中国の荒い運転のバスに慣れていたせいか許容範囲の運転だ。去年のアモイのバス運転手は強烈で、ホテルから目の前の3車線道路に出る時に1度たりとも一時停止しなかった。左側に座っていた自分は推定80キロで向かってくる走行車を見てその度に「あ、事故った」と思ったものだ。

夕食は海鮮中華。洒落た店で、随分と賑わってモいる。が、客層はバラエティに飛びすぎ(笑)観光客相手というよりは、地元人気店という感じなのだが、テーブルごとに言語が違う。新大久保のマック並だ。この時点でシンガポールの多民種構成を実感する。

第1母国語の分布

中国語(北京語)	50%
英語(訛るらしい)	32%
マレー語	12%
タミル語(インド系)	3%
その他	3%

信仰宗教の分布

仏教	33%
キリスト教	18%
無宗教	17%
イスラム教	15%
その他	17%

基本公用語は英語なのだそうだが、学校教育では中国語・英語・マレー語は平等に扱われ、若年層ではバイリンガルどころかトライリンガルは当たり前らしい。羨ましいようなランドセルが重たそう。この多人種構成による言語能力の高さがシンガポール社会の基礎となっていて、海運の要所であるマラッカ海峡入口に位置するという地理的要因と併せて、シンガポールを長らく世界の海上コンテナ取扱港に君臨させ(現在世界1位は上海)、近年では国際金融企業グループの誘致に国家政策をもって注力し、ロンドン・NY・香港に次ぐ世界第4位の金融センターの地位を東京から奪っている。

因みにこの地は15世紀に最強国であったポルトガルが当時のマラッカ王朝を追放して支配し、16世紀にオランダ東インド会社がとって代わった。18世紀後半に入ると、イギリスが欧州での中国茶需要激増に対応する為に、アジア貿易の要所(マラッカ海峡が最短ルート)であったこの地への進出を図った。そして、現マレーシア北部の王朝が現タイの隣国シャム王朝からの侵略を恐れて、イギリスの兵力援助と引き換えにイギリス東インド会社にマラッカ海峡西側入り口のペナン島

を賃貸した。要は用心棒ね。この時、イギリスは中国・インドから大量の植民地移民政策を行った。これがマレーシア・シンガポールの多民族国家形成要因となる。19世紀に入ると、植民地インドと中国の海運貿易が増大した。1819年、東インド会社トーマス・ラッフルズは小さな漁村に過ぎなかったシンガポールの地政学的重要性（マラッカ海峡東側入口に位置しており、海峡幅が狭く、マラッカ海峡軍事支配に好都合）に着目し、現地王朝からこれを奪取。先駆者のオランダとの外交交渉を片づけると、非関税港・海軍基地としてシンガポールを発展させ、19世紀のイギリスのアジア植民地政策の中心地として栄えさせた。しかし、20世紀に入り、太平洋戦争で日本に占領されることになる。終戦後に統治復帰するも、現地の自治権獲得運動により1963年マレーシアが誕生する。しかし、マレー人優遇政策に不満を持った華僑中国人系が1965年にシンガポールを独立させ、現在に至っている。

現在のシンガポールは東京23区程度の国土面積に450万人が暮らす世界トップレベルの人口密度の国であるとともに、1人当たりのGDPは日本を上回り、物価や為替レートを勘案した購買力平価ベース（要は実質お金持ち度）では世界3位！の実力。

1人当たりのGDP(US \$)	世界	シンガポール	購買力平価 GDP(US \$)	世界
15位	シンガポール	43,116	→ 3位	56,521
16位	日本	42,820	→ 25位	33,804
25位	香港	31,590	→ 8位	45,736
34位	韓国	20,590	→ 26位	29,835
65位	マレーシア	8,423	→ 57位	14,699
87位	タイ	4,991	→ 86位	9,187
93位	中国	4,382	→ 94位	7,518
106位	インドネシア	3,015	→ 120位	4,394

そのお金持ち度と経済成長の勢いの象徴なのが、宿泊したマンダリンも所在するマリーナ・ベイ地区。



有名なマライオンがある湾岸埋め立て地区なのだけど、某携帯キャリア会社CMにSMAPのキャスティングで使われた（高層ビル屋上のプールね）複合施設（ホテル・カジノ etc.）「マリーナ・ベイ・サンズ」のスゲーこと派手なこと。マカオの「グランド・リスボア・ホテル」みたいな「えー！」みたいなお下品さはないけど、地上55階高さ200Mのホテルが3棟！！並び、その屋上を繋ぐように長さ340Mの空中ガーデン「サンズ・スカイパーク」が「乗っている…高層ビル3棟の屋上に船が乗っているよう」日本の建築基準じゃ有り得ないな。また、マリーナ裏側の付属建物は最大52度の傾斜でホテル棟と繋がってるとのこと。その下の空間に世界のブランドショップが並ぶアーケードが。因みに帰国してから Google Earth でマリーナ地区みたら、ほとんど更地でした…夜の1人歩きの目的であった夜景目当てにスカイパーク直通エレベーターに乗ろうとしたけど、既にチケットはSOLDOUT。マリーナの歩道から見上げる夜景（高層ビルによきよき・世界最大の観覧車・次週開催の市街地F1の仮設スタンド）だけでも目がくらむほどなのに、スカイパークからの夜景はさぞや…と悔しがりつ

つ、アーケードをウインドウショッピング。シャネルなんてかわいく見えてしまう Van Cleef & Arpels の 4000 万円のネックレスの輝きを夜景代わりに目をくらませ、時計雑誌でしか見たことなかった Blancpain の 2500 万円の時計に涎をたらし…シンガポール、金あります。そして、カジノに吸い込まれていくのはほとんどデカイ声で話す中国人。中国人、金あります。金当りに負けず、マリーナを1周近くしかけたところで、マーライオン君発見！洒落たレストランや bar に囲まれ、ライトアップされた彼は、かつての「がっかりする名所」の汚名を吹き飛ばし、沢山の観光客にスマイルを誇らしげに振りまいているようでした。



翌日はモスクを見学。荘厳な雰囲気と装飾の美しさに圧倒されるとともに、マリーナ・ベイ地区とは正反対のシンガポールの一面に触れ、多民族国家の懐の深さを感じました。昼食は村上春樹の小説でも有名な「ラッフルズホテル」の「Royal China」で。20年近く前に読んだ小説の舞台の名ホテルでの昼食は感慨深いものがありました。ただ、スケジュールに余裕がなく、シンガポールの中心地オーチャード地区に足を延ばせなかったのは残念でした。

清風会ゴルフコンペ開催

清風会幹事 廣田 圭吾

相変わらず100の壁を破れずに、参加賞コレクターになりつつあるこの頃。130ぐらい叩いてブービー賞が指定席だった以前のほうが獲得賞金が多かったような…そんな中、固定ハンデとなる清風会は入賞の可能性のある数少ないコンペ。100なら間違いなく優勝なのだけど、諸先輩に気を遣っているうちに時は過ぎ（言い訳）ハンデ改正が行われてしまいました…もともと自分のハンデが多かったのでちよっぴり増えただけ。頑張らんと。

今回のコースは常陽カントリー倶楽部。名門です。近いです。雨の心配もなさそう。ゴルフ日和です。でも、心なしか皆さんの眼の色が違うような…ハンデ改正の影響は腕達者ほどプラスになっています。駄目だなこりゃ。

スタートの1番PAR4。「なんてことないミドル」です。グリーンも良く見える。フェアウェイも充分広い。でも、フェアウェイを1度も使わずにグリーンオン。遠慮したんじゃないありません。真っすぐ飛んでくれない。ボールに言わせりゃ「真っすぐ打ってくれない」。ここのコースは左右の林がきつく、入れたら出すだけ。強引に前に打とうものなら啄木鳥(きつつき)のように「コン・カン・コン」と快音が響きます(汗)自分は「カン」と「コン・コン」をやって6オン(汗)2パットで8スタート。2番PAR5も「カン・コン」で8。3番PAR3は乗せられずにアプローチで往復ショットして5。あー帰りた。風呂入って帰りた。と湧き上がる気持ちを抑えて残りはミドルでパーも拾いつつ53で凌ぐ。午後は50なら…

今日安定しているのはショートアイアンぐらい。大振りをせずにアプローチで勝負！の皮算用

を立てて、コツコツとちっちゃいゴルフで凌ぐ。ボギー & ダボ & 啄木鳥ばかりの苦しいスコアメイクながら踏み止まってきました。14番までは。15番 PAR3。ティーショットを右に大きくそらし、2打目で「カン・カン」3打目でバンカーにお邪魔して2パット。ダブルパーの6。終戦です。集中力が切れてしまい、続く16・17番の連続ミドルは7・7。今年の石川遼の気持ちが解るような気がする…気がするだけ。

上がってみたら後半55で108。HDCP 31 あっても NET 77では入賞は遠い。優勝はコスモリサイクル小森さん。圧巻の連続優勝です。準優勝はベスグロ84の増田商店増田会長。3位は初参加のノボル紙業近藤さんです。自分は7位で飛び賞ゲット。「次こそは練習して…」と毎回思う帰り道。でも練習に行く時間がないのでまずは道具から、と「曲がらないドライバー売ってないかなあ？」と思っているうちは優勝は遠い…



成績は次の通りです。

優勝 小森 修 (株) コスモリサイクルセンター
準優勝 増田 唯之 (株) 増田商店
3位 近藤 昌和 (株) ノボル紙業

東京都製本工業組合との親睦ゴルフ

青年部幹事長 梨本 竜範

東京都製本工業組合のゴルフコンペが10月16日(日)に開催されました。場所は栃木県の

鬼怒川カントリー倶楽部で当組合からは、美濃紙業(株)の近藤理事長、(株)共益・商会の赤染直納部部長、(株)ノボル紙業の近藤集荷部副部长と私、梨本の4名が参加させていただきました。

当日の朝は、強い雨が降っていたのですが、プレーの始まる7時ごろは雨もやみ、昼過ぎには日が照り半袖でも暑いぐらいでした。最初受付で、参加賞のオリジナルの帽子等を頂き、製本工組、機械、資材、東京協組の総勢82名が3コースに分かれてスタートしました。我々は初参加だったので、4名で1つのパーティーでプレーしました。組合活動などでよくお会いする方々なので、気兼ねなくゴルフを楽しむことが出来ました。

プレーが各自終わり、成績発表、懇親会のパーティーが始まり製本工組の理事長挨拶、幹事等の挨拶が終わり、当組合の近藤理事長の乾杯でパーティーがはじまりました。その中で「今度は東京協組のゴルフコンペに参加したい」と製本工組の理事長やその他の方からも言っていただきました。早起きして少し眠かったのですが、眠さもなくなる有難い御言葉でした。

成績の方ですが、ベスグロが製本工組の小林さんが76で、当組合は(株)ノボル紙業の近藤さんが35位のトビ賞をいただき、団体では8位でした。

行きも帰りも交通事情に恵まれ、パーティーにも恵まれ、楽しい一日を過ごすことが出来ました。



青年部と製本二世連合会との交流会

青年部幹事長 梨本 竜範

10月14日（金）に一年に一回、青年部と製本二世連合会との交流会を当組合会議室において行いました。出席者は、二世会14名で我々青年部12名。今回の担当幹事は当組合青年部だったので、組合会議室で古紙が集荷され製品になるまでと禁忌品の説明をしました。最初に坂内部長の挨拶、集荷から出荷を私、製紙メーカーを丸十商店の高橋さん、禁忌品を(株)工藤商店の工藤さん、と担当を決めて始まったのですが、部長の挨拶あとの私の説明が、上手く出来ずにどうなる事かと思ったら、高橋さんと工藤さんがそれぞれの説明をうまく行ってくれたので、その後の質疑応答も充実したものになりました。その中ではメーカーによって使える紙、使えない紙、各製本屋さんの古紙選別事情の話が多く、その後、組合のそばの高田屋において懇親会を開催しました。



二世会の宮会長の挨拶、乾杯で懇親会が始まり、仕事、趣味、組合活動などなど話題も尽きることなく盛り上がり、なかには「来年、製紙メーカー視察旅行に行きたい」、「この交流会を年に一度ではなく複数回やったほうがいい」という二世会の方がいまして、ありがたい話だと思い、ぜひ実行したいと思いました。その後、廣田副部長の締めで散会になりました。

最後に私ごとですが当日、集まっていた

方々、準備の時から手伝ってくれた方々、組合事務所の夏目さん、濱谷さん、相談に乗ってくれた諸先輩方々。本当にありがとうございました。組合仲間の大切さをあらためて重々感じました。至らない点が数々あるとは思いますが、これからも宜しくお願いします。



印刷産業青年連絡協議会サミット

足立支部 近藤 英彰

10月22日（土）、印刷産業青年連絡協議会（以下、印青連）主催の印青連サミット2が日本印刷会館で開催されました。

印青連とは、関東印刷関連組合13団体の青年部により構成されており、東京協組は今期より正式に参加しております。

今回は、「明日（これから）のために今日（いま）を話そう 全員で」というテーマの下、約3時間の2部構成となりました。要するにどのような会かと言いますと、知っているようで知らない隣の業界と、これから向かう方向性やビジョンを話し合い、何かヒントを見つけましょうというものです。

というのも、印刷の市場は2020年までに24%減、企業数も30%減となる予想（この具体的な数字には大変驚かされました）で、参加企業はみな本当に危機感を持っているのが伺えました。

前半はパネルディスカッションで、各13団体の

代表が、組合の紹介から直面している問題、これからの展望などを発表し、私たち東京協組青年部からは、(株)梨本の梨本幹事長がパネリストとして参加しました。

後半はテーブルディスカッションで、参加者が8名ずつA～Jのグループに分かれ、「各企業の2011年」「各企業の今取り組んでいること、取り組むべきこと」「印青連に対して望むことは？」と、3つのテーマを話し合いました。

どの企業の方も「今までと同じようにやっているのは確実に減びる」と考えており、印刷という業種にとらわれず、顧客のニーズに応えるために何でも取り組もうという姿勢が感じられました。

業界に浅い私にとっては、他業種、といっても近い存在の組合の方々と意見を交換できることは非常に勉強になりましたし、今後も積極的に参加していきたいと思っております。



組合員紹介

[文京支部]

株式会社パルコム

ヤマダ ユウコウ
山田 祐康



役職 : 代表取締役

年齢 : 60代

血液型 : B型

体型 : 大柄

業界歴 : 40年

何代目 : 2代目

他業界歴 : 2年

業種 : 甲板員

趣味 : 旅行

取得資格 : 総合旅行業務取扱管理者

取得免許 : 船舶免許2級、アマチュア無線

好きなスポーツ : 野球、水泳

// 俳優 : 武田 哲也

// 歌手 : テレサ・テン

// 作家 : 司馬遼太郎

// 言葉 : ありがとう

// 食べ物 : 懐石料理

嫌いな食べ物 : 香菜

飲酒 : する

タバコ : 吸う

お勧めの場所 : 京都、奈良

いつか行きたい場所 : 小笠原諸島

自分の性格 : 明るい、だらしない、アバウト

古紙業界に入って思う事

気を付けている事 : 場内外における人身事故

大切にしている事 : 人との付き合い

業界に入って良かった事 : 体力が付いた

// 悪かった事 : 休みが無くなった

組合員同士でネットワークを生かす事 : 興味ある

業界に入って良かった事 : 現在まで続けていられる事

// 悪かった事 : 在庫が売れない事

組合員同士でネットワークを生かす事 : 興味ある

[城北支部]

株式会社 辻商店 ^{ツジ} ^{タダトシ}
辻 忠敏

役職：取締役
 年齢：45歳
 血液型：AB型
 体型：小柄
 似てる人（動物にたとえると）：サル
 業界歴：27年
 何代目：2代目
 趣味：鉄道、バイク
 特技：水泳
 好きなスポーツ：野球、スキー
 // 俳優：ケビン・コスナー
 // 歌手：キロロ
 // 食べ物：甘い物
 嫌いな食べ物：辛い物
 飲酒：普段は飲まない
 タバコ：吸わない
 他に好きな物：コーラ
 // 嫌いな物：お酒
 いつか行きたい場所：全都道府県
 自分の性格：情にもろい、明るい、せっかち
 アバウト
 古紙業界に入って思う事
 気を付けている事：事故
 大切にしている事：人、物を大切にする心
 業界に入って良かった事：身体が丈夫になった
 // 悪かった事：小キズが絶えない

組合員同士でネットワークを生かす事：
 何とも言えない

お詫び：

9月号でご紹介した荒川支部・宮内啓悟様の会社名に誤りがありました。

正しくは、和幸紙業株式会社です。

訂正とともにお詫び申し上げます。

組合員の広場

大同生命保険株式会社

上野支社の紹介

平素は、大変お世話になっております。

今回、企業PRの場を頂戴いたしましたので、大同生命の特徴や中小企業の経営者を取り巻くリスクについてお伝えしたいと思います。

■大同生命の特徴は？

大同生命は、生命保険業界において独自路線によって現在の地位を築いてきました。

国内生保が伝統的に家計市場を中心に販売活動を行ってきたのに対して、それとは異なる中小企業市場に特化した路線を開拓し、これが競争力の源泉となっております。

商品は個人定期保険を中心に販売しており、個人定期保険のシェアは19.2%（平成21年度末）に達しております。更に新契約高を見ても、企業市場契約が94.2%（平成22年度）を占めているのに対して家計市場契約は5.8%に過ぎません。

このように大同生命の大きな特色の一つは「独自性」にあります。今後も「中小企業のお客さまに対する個人定期保険販売」に経営資源を集中す

ることで、より良い商品やサービスの提供に努めて参ります。

■東京都製紙原料協同組合専用の商品をご提供

大同生命では、東京都製紙原料協同組合の組合員様が、病気や事故などで倒れた場合のリスクから守るため、昭和52年より東京都製紙原料組合専用の集団扱いの生命保険をご提供させていただいております。組合員様専用の商品として団体料率が適用されているため、割安な保険料でご加入いただけます。

■中小企業の経営者を取り巻くリスクとは？

中小企業の場合、経営者個人の力量に依存されているケースが多いものです。このため、特にご認識いただきたいことは「経営者ご自身に関わる人的損失リスク」です。このリスクは大きく次の5つに分類できます。

- ①運転資金対策・・・経営者が万一のときに後継者が円滑に事業を継承できるよう、当面の人件費（従業員の給与など）やその他事業継続に関わる資金などの準備が必要と考えられます。
- ②借入金返済資金対策・・・金融機関から事業資金を借り入れている場合は、経営者が万一のときの返済資金準備が必要と考えられます。
- ③役員退職慰労金対策・弔慰金対策・・・経営者が勇退後に豊かな老後をおくるための生存退職金として、また、万一の時に残されたご家族の生活を支えるための死亡退職金として、役員退職慰労金および弔慰金の準備が必要と考えられます。
- ④事業承継・相続対策・・・経営者の相続財産に自社株が含まれるケースは多く、その評価額が思いのほか高額になることも珍しくありません。スムーズな事業承継のためには、自社株買取資金の準備などの対策が必要と考えら

れます。

- ⑤福利厚生対策・・・従業員が安心して働ける職場にするには、退職金などの福利厚生制度を充実させることが大切ですが、一時的に多額の費用が発生し業績に悪影響を及ぼすことのないよう、計画的な準備が必要と考えられます。こうしたリスクに対して、大同生命では生命保険を活用したリスクマネジメントをご提案させていただいております。今後も、組合員様の安定的・永続的な発展のために、「最高の安心」と「最大の満足」をお届けする生命保険会社を目指して日々取り組んで参ります。



大同生命保険株式会社 上野支社

住所 東京都台東区東上野 1-14-4

TEL 03-3831-7050

FAX 03-5818-7057

担当：井上貴裕、小川重子、戸辺久美子

♪ことわざミニ知識♪

「酒池肉林」（しゅちにくりん）

中国の古代王朝である殷の最後の王である紂王が、酒を池に満たし、肉を木の枝にかけて連日連夜遊び暮らしたという故事に由来することば。要するに酒や肉が豊富で贅を極めた酒宴を指します。この場合の肉とは子豚の丸焼きだそうです。多数の美女に囲まれ、飲みただけ酒を飲んで無礼

講の宴会を延々と続ける、と言う間違っただ意味に
使われることも多いようです

そうありたいと思う男の願望が、間違っただ解釈を
広める背景にあるのは間違いないでしょう。

支部スケジュール

千代田支部

支部会 12月13日(火) 神保町
忘年会 " 新世界(中華)
支部会 1月18日(水) 菜の花
支部会 2月6日(月) 菜の花

中央支部

支部会 12月17日(土) 鳥松
支部会 1月13日(金) きくち

文京支部

忘年会 12月8日(木) サンシャイン60
支部会 2月8日(火) 池袋・地球飯店

台東支部

忘年会 11月28日(月) 大昌園

荒川支部

忘年会 12月12日(月) 四丁目会館
12月21日(水)～22日(木) 歳末夜警
新年会 1月7日(土) 宮川

足立支部

ゴルフコンペ
12月8日(木) ジュンクラシック
新年会 2月18日(土) 北千住

山手支部

忘年会 12月17日(土) 鮭やなぎ

城南支部

新年会旅行 2月4日(土)～5日(日)
*場所未定

江墨支部

忘年会 12月20日(火) 吉野すし

城北支部

忘年会 12月10日(土) 月亭・池袋店
支部会 2月10日(金) 場所未定

◎第9回組合合同新年会

平成24年1月21日(土)

午後6時～

場所：上野・精養軒

◎直納部委員会及び忘年会

平成23年12月9日(金)

場所：上野・東天紅「海燕亭」

午後5時～直納部委員会

午後5時30分～忘年会

お知らせ

[12月会議・催事予定]

12月4日(日) 第4回関東商組との親睦ゴルフ会
宍戸ヒルズカントリークラブ
8組32名を予定

12月5日(月) 共販輸出検討委員会 (pm1:30～)
" 常任理事会 (pm2:00～)
理事会 (pm3:30～)

12月 5日(月) 清風会 講演会
 「田中美絵子議員」(pm5:00～)
 清風会忘年会 (pm6:00～)
 上野・東天紅

12月 9日(金) 直納部忘年会
 直納部会 (pm5:00～)
 忘年会 (pm5:30～)
 上野・東天紅「海燕亭」

12月29日(木)～1月4日(水)
 組合事務局・年末年始休暇

[古紙価格]

[東資協の古紙4品の標準売値]

平成23年10月7日現在

新聞	9円～11円(横ばい)
雑誌	7円～9円(横ばい)
段ボール	9円～11円(上昇)
色上(並)	7円～9円(横ばい)

[古紙品質調査事業]

平成23年10月～12月価格

[新聞 古紙]	16,000円/トン
[段ボール 古紙]	18,000円/トン

[訃報]

江墨支部:(株)松井紙業(代表者 松井隆宏 様)
 のご尊父 松井末一様(享年91)が9月25日
 (日)にご逝去されました。

江墨支部:(株)墨田リバーズ 会長(代表者)
 埜島 昌利 様(享年71)が平成23年11月1
 日(火)にご逝去されました。

会議概要 [9月・10月]

9月度定例理事会

[平成23年9月5日(月)] pm4:00
 出席理事30名・監事1名 於)組合会議室
近藤理事長挨拶

夏のシーズンも終わりに近づきましたが、今年は自然災害が多く、地震、津波、そして近畿地方を中心に台風による甚大な被害が出ております。野田新内閣も発足し、一刻も早く東北地方や近畿地方の復旧、経済問題に取り組んで頂きたいと思っております。

組合関係では、7月に製本工組と古紙関係協議会を上野・精養軒で行いました。8月には東京返本加工協同組合の総会があり、直納部委員会・納涼会も開催されました。東り協では「古紙持ち去り問題の根絶を目指して」とリサイクルフォーラムが7月に行われ、東京都を中心として製紙メーカー、行政、警察と全てが一体となって対策がスタートしたところです。本日は、これらの会議等の報告と、これからの予定につきまして打合せをしていきたいと思っております。

[各部報告]

[直納部]

9月度の共販輸出は、3社が入札に参加しました。入札価格結果は、前月と同様、同額で(株)ジエーオーピーが落札となりました。仕向地はフィリピン、韓国、中国で、市況は、引続き海外メーカーで製品在庫過多、海外でのパルプ価格の下落、さらに昨今の円高により市況的には思わしくない模様。直納部主催の海外メーカー工場視察研修は、9月17日～21日にシンガポール・クアラルンプール3泊4日の日程で行われる。参加者は13名でクアラルンプールでは板紙メーカーの

GSペーパーと他に古紙ヤードを見学する予定である。研修説明会を9月13日に開催し、近畿日本ツーリストと今回の研修をアテンドされた丸紅ペーパーリサイクルの法心部長と現地で同行される村田様が参加される予定である。

全体的な市況は、国内はほとんど変化なし。輸出はドルベースでは若干、8月を上回る動き。中国のA社では上物古紙を使用したい意向があり、オフィスパックをターゲットとして集めているようである。日本の古紙のさい落ものは、いらないうで、ケントについては品質基準が違い、クレームとなる場合が多いようであると聞いている。

[品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙メーカーは、製品の価格修正に期待をしているが、あまり期待できないようである。現在は製品の荷動きが鈍い状態である。また、製品在庫に余裕があるのでフル生産は、しにくい状況のようである。9月一杯はタイト感が出にくく9月末あたりまで様子見の状態になるのではと思われる。

[段ボール・新聞・雑誌] 裾物3品については、特に変化なく、ほぼ横ばいか、やや弱含みの状態。段原紙は悪くない状態。

[台紙] 変化なし。段ボールは原紙の価格修正の話が出ており期待している。輸出価格との差が大きくなっているため差が詰まれば有り難い。

[返本雑誌] 発生は、7月は前年並みだったが、8月は前年を上回り予想外であった。例年では、あり得ない事で7月の終わりが悪かった分、8月に伸びたのか原因がハッキリしない。

[オフィス古紙] 発生が悪い。最近では、発生のリサイクルがマチマチで読みにくい。

[集荷部]

発生が少なくなっている。発生は長い間、悪い状態が続いている。価格面での内外格差を埋めてもらえたと感じている。

[広報部]

広報誌の9月号を制作中である。時の視点では、8月に行われた青年部と理事の懇談会から「業態変化に敏感になろう」を掲載予定。

他は、製本工組との懇談会や各支部で開催された納涼会について掲載予定である。「組合員紹介」で、まだ紹介されていない支部からのアンケートが提出されていないので、提出をお願いしたい。広報誌の表紙については、まだ募集してから応募がないので印刷会社やホームページ等にある素材を利用したいと考えている。

[事業部]

来年の合同新年会のアトラクションとして江墨支部から「日本舞踊」の提案があった。検討の結果、披露することに決まった。

都市近代化事業協同組合の自動車共済保険を事業部長に審査してもらった結果、現在加入している保険と比較すると10%以上の料金が割安となった。再度、支部会等で紹介し組合員の利用を進めていきたい。

[青年部]

10月14日(金)に製本二世連合会との交流会を組合会議室で開催する。会議の中では、古紙の収集から問屋を通してメーカーへ納品する過程をスライドを使い説明していく予定。又、品質面でも話をしたい。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：9月8日に大阪で会議があり、古紙リサイクルアドバイザーの更新テストと品質管理責任者のテストについて具体的な内容が話される予定である。

[その他]

・清風会会長の選出について：皆川現会長より健康上の理由により会長職の辞任の申し出があった。新会長は現副会長でもある坂田副会長に依頼し、副会長は、その時の理事長が副会長となる事

で話し合いがまとまった。坂田副会長には近藤理事長より依頼してもらった事となった。

古紙センター関東地区委員会

[平成23年9月26日(月)] pm2:00～
於) 古紙センター会議室

[需要動向] 11/8月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	64,308(101.7%)
	出荷	63,564(97.3%)
	在庫	11,291(17.8%)
[雑誌]	仕入	51,304(108.1%)
	出荷	51,318(107.9%)
	在庫	7,047(13.7%)
[段ボール]	仕入	128,257(107.1%)
	出荷	127,102(105.9%)
	在庫	3,590(10.7%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	183,368(80.1%)
	消費	197,834(85.5%)
	在庫	136,305(68.9%)
[雑誌]	入荷	107,779(94.0%)
	消費	103,144(97.0%)
	在庫	55,881(54.2%)
[段ボール]	入荷	284,931(100.1%)
	消費	268,855(99.5%)
	在庫	99,416(37.0%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌]

新聞のページ数は、7月は横ばい、8月は増加している。チラシの数量は7月、8月と前年を下回っており、依然として悪い状況が続いている。本文とチラシとも朝日新聞の量が多い。雑誌の発生は、

7月、8月と少し多い状態。6月、7月は輸出量が増えた。9月の発生状況は横ばい。

[段ボール]

段ボールの発生は、7月は横ばい、8月は若干、増加している。

[上物古紙]

産業古紙の発生は7月、8月と比べると9月は増加している。カレンダーは昨年のような数量は期待できない。家庭紙メーカーは製品在庫を多く持っているようである。

[メーカー側コメント]

新聞の各メーカーの入荷は低調レベル。消費は7月～8月は大幅な変化はない。

段ボールの生産は、前年並み。8月の入荷は良くない。9月も入荷低調。

古紙センター業務委員会

[平成23年9月29日(木)] pm1:30～
於) 古紙センター会議室

- [1] 紙リサイクル経験者の登録について
 - [2] 集団回収実施団体への感謝状交付について
(中部地区委員会推薦)
 - [3] 平成23年10月～24年3月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について
 - [4] 古紙の需要・市況動向について
- *ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連第4回役員会

[平成23年9月29日(木)] pm3:00～
於) 古紙センター会議室

理事・監事64名：出席64名
(内、委任出席32名) 欠席0名

(1) 古紙再生促進センター関係

●業務委員会（9月29日開催）

◎平成23年10月～24年3月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

段ボール：23年7月～9月実績・見直計画

1,872,221 t（前年比100.9%）

23年10月～12月見直計画

1,979,913 t（前年比102.0%）

24年1月～3月計画

1,795,501 t（前年比101.0%）

新聞：23年7月～9月実績・見直計画

884,956 t（前年比90.0%）

23年10月～12月見直計画

949,731 t（前年比95.7%）

24年1月～3月計画

939,180 t（前年比100.6%）

雑誌：23年7月～9月実績・見直計画

553,105 t（前年比98.4%）

23年10月～12月見直計画

560,638 t（前年比97.7%）

24年1月～3月計画

525,348 t（前年比102.4%）

◎紙リサイクル経験者の登録について

・登録者：日山伸一

（前職松本光春商店常務取締役）

◎集団回収実施団体への感謝状交付について

・推薦地区委員会：中部地区委員会推薦団体：5団体（9月29日業務委員会承認）

◎今後の日程

平成23年10月27日（木）13:30～14:30

第6回業務委員会（センター会議室）

平成23年11月28日（月）13:30～14:30

第7回業務理事会（センター会議室）

(2) 経済産業省関係

・第2回経済産業省との懇談会（9月15日開催）

・出席者：経済産業省（坂本課長、佐々木係長）

全原連（栗原理事長、矢倉副理事長、

大久保副理事長、石川副理事長、

佐野理事長、瀧本理事、須長理事、

近藤理事、藤川理事）

・意見交換：テーマ「中国における古紙の動向（視察調査状況）」について

・第1回古紙市場安定化検討委員会（9月21日開催）

・テーマ：中国における古紙の動向について

・設置の主旨：経済産業省22年度予算で「古紙市場安定化に関する調査報告書」（矢野研究所）を作成。再度、24年度予算の計上予定により全原連として古紙市場安定化委員会を設置。委員構成は全原連（理事長）関東商組（理事長、副理事長、需給委員会副委員長）

・当初24年度予算の計上予定が23年度下期に予算化されることになりました。

予算件名：

(1) 「平成23年度中小企業支援調査

（アジア諸国の古紙リサイクル実態調査）

(2) 平成23年度環境問題対策調査等

（紙リサイクルシステムの強化に関する調査）

(3) 全原連関係

◎審議事項

① 「古紙商品化適格事業所」「古紙リサイクルアドバイザー」認定について・・・承認

・古紙商品化適格事業所：8月15日（3社3事業所）累計（398社769事業所）

・リサイクルアドバイザー：8月15日（6社14名）累計（435社1,828名）

② 近代化推進事業委員長の交代について・・・承認

・需給委員会：大久保信隆委員長から藤川達郎委員長へ

・渉外広報委員会：藤川達郎委員長から須長利行委員長（副委員長）へ

③B I R及び古紙国際会議への今後の対応について・・・承認

・日本の会員としては現在、鉄リサイクル工業会のみ

・大会は年2回開催（春は総会、秋は分科会）

・会員（団体年会費：1,500ユーロ、約17万円）

・今入会の申し込みをすると来春の総会で承認される。（承認までは暫定会員）

・参加人員：5名以内、負担：全原連3分の2、自己3分の1

・ミュンヘン会議（10月23～25日開催）参加者：
大久保信隆（株）大久保、関東商組）、塩瀬宣行（大和紙料（株）、近畿商組）
大津正樹（株）紙資源、九州商組）

④適正仕入価格（適正コスト）標準指標調査資料提出について・・・承認

・原価構成比調査表の作成上の留意点（代納分も含めて経費全額計上）。

・原価構成費調査表資料について各単組で再度調査し、至急に検討して下さい。

・行政の高値入札に対応するため、需給委員会で早急に上・下限価格を検討すること。

⑤古紙持ち去りに関する動きについて

・古紙持ち去り問題対策協議会報告に係る意見交換会（9月14日開催）

・詳細については東京都ホームページに掲載されておりますので確認して下さい。

⑥古紙リサイクルアドバイザー認定試験実施について

・認定試験対象者数：全国1,828名（23年8月15日現在）

・予算案：450万円（事業費150万円、会場使用料・問題作成印刷費等300万円）

・徴収案：受験料2,000円／1人（見込額2,000×1,500名＝300万円）

・収入案：各単組と全原連で折半し、それぞれの収入とする。（各々1,000円／人）

・費用負担案：全原連（試験に係る準備費用の全額）各単組（試験実施費用の全額（会場使用料、試験立会人費、通信費等）
上記費用を受験料収入から充当し、不足が生じた場合はその額を全原連が負担する。

⑦国際古紙会議開催（日本での開催）について

*国際古紙会議開催概要案

1. 会議名：第1回国際古紙会議

2. テーマ：「アジアにおける古紙リサイクルの推進」

3. 開催時期：平成27年秋

4. 日程：2～3日間（ウェルカムパーティ、基調講演、現場視察）

5. 参加呼びかけエリア及び参加人数：環太平洋諸国、300名（国内含）

6. 経費及び財源：会場費・機材費等、準備金積立（年間200万円）

7. 主催団体及協賛団体：経済産業省、日本製紙連合会、古紙再生促進センター

8. 当面の対応：年内に準備委員会を開催。24年3月末に実行委員会を立ち上げ。

⑧日中古紙セミナーの参加状況について

・日時：平成23年10月11日（火）15:00～18:00

会場：憲政記念館（千代田区永田町1-1-1）

主催：公益財団法人古紙再生促進センター

・参加人数：300名（内全原連150名予定）

10月度定例理事会

[平成23年10月3日(月)] pm 4:00～
出席理事25名・監事2名 於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

先週、東資協との懇談会があり、抜き取り対策問題や昇華転写紙、感熱発泡紙など品質の問題について話合いました。

このところ欧米を中心に中国や東南アジアでも景気に陰りが見えており、株安に歯止めがかからない状態になりリーマンショックを超える金融恐慌になるのではとされています。我々、業界の中でも全原連では、毎年国外へ輸出されている400万トン近い古紙が止まったらどうなるのかと言う事について検討を開始しているところです。今月も連絡、協議事項が沢山あります。本日もご協力よろしくお願い致します。

[各部報告]

[総務部]

組合会館2階のテナント「(株)研立」が年内で会社をクローズする。テナント募集を予定している。

[直納部]

10月度の共販輸出は、3社が入札に参加しました。入札価格結果は、前月と同様、同額で(株)ジェーオーピーが落札となりました。仕向地はフィリピン、韓国、中国で、市況は、引続き海外メーカーで製品在庫過多、海外でのパルプ価格の下落、さらに昨今の円高により市況的には思わしくない模様。共販輸出参加業者で1社が10月より参加が難しくなった為、参加希望社を募る。

全体的な市況は、国内で段ボール古紙の価格修正が発表された。段ボール原紙も11月に向け価格修正の動きが出ている。

輸出は、8月は夏のわりにはハイペースで輸出された。9月は発生が悪い。

[品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙メーカーは、生産調整をしており在庫を持っているようである。新聞、雑誌が動いてこないと言われ、産業古紙も動いてこないと思われる。製品価格の修正については期待しづらい状況である。

[段ボール・新聞・雑誌] 段ボール古紙は10月より価格修正。段ボール原紙も11月に価格修正が期待出来そうである。

[台紙] 変化なし。

[オフィス古紙] 発生が悪い。

[集荷部]

発生が少なく仕事も少ない。家庭紙メーカーは古紙の発生が少ないのに、何故、在庫が潤沢にあるのか理解できない。

[広報部]

広報誌の9月号は、先日お手元に届いたと思う。11月号に関しては、「時の視点」を先月に行われた海外メーカー工場視察研修のレポートと直納部の正副部長による古紙の現況について記事を掲載予定。「組合員紹介」については、まだ掲載されていない文京支部と城北支部から記事を出してもらう。

総合名簿は、協賛広告が少し遅れているので、担当者より協賛会社へ督促をしてもらう。

[事業部]

組合の事業であるETCとガソリンカード、自動車共済保険になるべく多くの組合員が加入してくれるようお願いする。

[青年部]

10月14日(金)に製本二世連合会との交流会を組合会議室で開催する。12月2日に印青連関係の忘年会に出席。12月24日には東資協青年部との懇談会を予定している。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの

更新テストを11月から来年の2月の間で行う。
10月中にテストマニュアルを受験者へ配布予定で、この中から50問の○×式問題が出題される予定。受験費用は1人2000円。試験の際は、会場で第三者の立会人が必要となる。組合より有資格者へテストの受験希望についてアンケートを出す予定。

[その他]

- ①12月の清風会講演会の講師を田中美絵子議員にお願いする予定。
- ②製本工組主催のゴルフコンペに組合より、近藤理事長、赤染理事、近藤（昌）理事、梨本理事の4名が参加する。
- ③東印工組との懇談会について11月に会合を予定していたが、東印工組が役員改選等の関係で時間が取れず延期し、来年の総会後の6月以降で行う事になった。
- ④古紙センターをからめた静岡県紙業協会家庭紙部会と静岡商組と東京協組の三団体の会合について、10月28日の静岡での家庭紙部会の前事前会議で、静岡商組と話し合いをする。事前会議は午後12時45分からに変更する予定。

古紙センター関東地区委員会

[平成23年10月19日(水)] pm2:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 11/9月 単位トン、

()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	65,981(97.1%)
	出荷	63,965(93.5%)
	在庫	13,307(20.8%)
[雑誌]	仕入	52,033(109.8%)
	出荷	51,046(105.8%)

	在庫	8,034(15.7%)
[段ボール]	仕入	125,149(103.4%)
	出荷	125,800(102.8%)
	在庫	12,939(10.3%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	179,970(83.7%)
	消費	186,258(85.3%)
	在庫	130,017(69.8%)
[雑誌]	入荷	108,501(97.2%)
	消費	107,743(93.5%)
	在庫	56,639(52.6%)
[段ボール]	入荷	277,646(97.0%)
	消費	289,130(100.9%)
	在庫	87,932(30.4%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・雑誌]

新聞のページ数は、本文とチラシが増えてきた。特にチラシの増加が目立つ。業者在庫はランニングストック状態。段ボールの発生は8月～9月は横ばいで10月は減少してきている。

[上物古紙]

産業古紙の発生は、9月は横ばい。家庭紙メーカーの製品の価格修正は期待するのが難しいようである。家庭紙メーカーへの古紙原料の引き合いは、メーカーによりマチマチである。DIP向けの古紙原料の在庫は、震災前に戻りつつある。

[メーカー側コメント]

新聞の各メーカーの古紙原料入荷は、あまり良くない。在庫は9月～10月にかけて変化はない。全体的に新聞、チラシが復調しつつある。現状は入荷分が消費に廻される状態。

段ボールの生産は前年並みのレベルが続いており横ばい状態。在庫は各社、適正在庫よりは下回ってきた。

直納部委員会

[平成23年10月19日(水)] pm4:00～
出席委員 20名 於) 組合会議室

[市況全般について]

国内の古紙問屋の需給は10月に入り段ボール古紙の価格修正があった。輸出関係は、欧州の金融危機とアメリカ経済の減速により市況が下がっている。日本の商社でも共販輸出などで価格が付けられない状況が出てきている。発生は、9月は段ボールが比較的良く、新聞、雑誌は良くない。メーカーの古紙原料の納入は順調である。11月は古紙原料の調整により古紙問屋は在庫を持つことになるかもしれない。

[家庭紙]

家庭紙メーカーの現状については、市況が悪く製品が売れていない。製品在庫は、一杯になってきている。生産調整により古紙原料が使われなくなってきている。発生が悪いわりには家庭紙メーカーへの納入は順調に入っている。生産が落ちた分、バランスしているのではないかと。メーカーの一部には原料の納品についてキャンセルが入ってきている。製品の価格修正については期待できないのではないと思われる。

「家庭紙部会に向けて」

- ①直納部としての現況を伝える。
- ②全体的に産業古紙の発生は前年比で15%落ちている。オフィス系は10%前後の落ち。
- ③在庫はランニングストック状態。
- ④集荷の現状を伝える。

集直合同委員会

[平成23年10月19日(水)] pm4:45～
出席委員 24名 於) 組合会議室

[集荷部の現状]

発生は平均して少ない。
9月に一部スポットが出たが継続していかない。現状はかなり厳しい状況。

[家庭紙メーカーの古紙センター加入と今後の三団体懇談会についての確認]

現状を変えずに三団体の懇談会に古紙センターが乗っかってくる形が理想的ではないか。
上記の内容で静岡商組に伝える。

古紙センター業務委員会

[平成23年10月27日(木)] pm1:30
於) 古紙センター会議室

- [1] 集団回収実施団体への感謝状交付について
(東北地区委員会、中・四国委員会推薦)
- [2] 古紙の需要・市況動向について
*ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連第5回役員会

[平成23年10月27日(木)] pm3:00
於) 古紙センター会議室

- 理事・監事64名：出席64名
(内、委任出席37名) 欠席0名
- (1) 古紙再生促進センター 関係
・業務委員会(10月27日開催)
- ◎集団回収実施団体への感謝状交付について
・推薦地区委員会：東北地区委員会、中四国地区委員会)

- ・推薦団体：8団体（東北地区5団体、中四国地区3団体）

10月27日業務委員会承認

- ◎神奈川県紙リサイクル意見交換会（10月4日開催）

- ・会場：マツ・ムラホール（横浜市中区）
- ・講演：「古紙排出時の留意点」「製紙工場における古紙の品質問題」
- ・調査報告：「雑誌、雑がみ組成分析調査結果」

- ◎紙リサイクルセミナー（10月7日開催）

- ・会場：東京商工会議所国際会議場
- ・講演：「次期古紙利用率目標64%の設定経緯及び今後の取組みについて」
「古紙利用の環境に与える影響について」
「小規模事業所のオフィス発生古紙回収システムについて」

- ◎日中古紙セミナー（10月11日開催）

- ・会場：憲政記念館講堂
- ・講演：「中国製紙企業の現状と問題点について」
「中国古紙回収、流通の現状と課題」
「中国製紙業の現状と第12次5カ年計画の発展の趨勢について」
「浙江省の古紙回収の取組みについて」

- ◎今後の日程

平成23年11月28日（月）13:30～14:30
第7回業務理事会（センター会議室）

（2）経済産業省 関係

- ・第1回古紙市場安定化検討委員会（9月21日開催）
- ・テーマ：中国における古紙の動向について
- ・設置の主旨：
経済産業省22年度予算で「古紙市場安定化に関する調査報告書」（矢野研究所）を作成。再度、24年度予算の計上予定により全原連として古紙市場安定化委員会を設置。委員構成は

全原連（理事長）関東商組（理事長、副理事長、需給委員会副委員長）

- ・当初24年度予算の計上予定が23年度下期に予算化されることになりました。

予算件名：

- 1) 「平成23年度中小企業支援調査（アジア諸国の古紙リサイクル実態調査）」
- 2) 平成23年度環境問題対策調査等（紙リサイクルシステムの強化に関する調査）」

（3）全原連 関係

- ◎審議事項

- ①「古紙商品化適格事業所」認定について……………承認

- ・古紙商品化適格事業所：10月15日（2社4事業所）累計（398社773事業所）

- ②古紙リサイクルアドバイザー認定試験実施マニュアルについて

- ・認定試験実施概要（案）、受験者用案内（案）、試験実施立会人マニュアル（案）

- ・11月17日～18日全原連経営革新委員会開催時、再度検討する

（4）委員会報告

- ・経営革新委員会

- ・「日本古紙品質認定制度（J-BRAND）」関東地区委員会で24年1月実施スタート

- ・需給委員会（10月21日開催）

- ・適正仕入価格（適正コスト）標準指標（原価構成比）について再度検討する

- ・関東商組11月度積古紙輸出については諸般の事情により中止する

- ・IT推進委員会

- ・11月16～17日四国商組（高知市）開催

- ・東芝情報機器と共通ソフトの拡充について検討する

- ・ 渉外広報委員会
- ・ エコプロダクツ 2011、古紙再生促進センター
出展しませんので全原連も出展なし

広報誌 表紙写真募集の件

広報部部长 清水 弘允

皆様には日頃より組合活動にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて広報誌の表紙は、従来、特定の組合員様のご協力で写真を提供して頂いて参りました。

しかしながら諸般の事情により、今後その写真の利用ができなくなりました。

そこでこの機会に、組合員の皆様から表紙を飾る写真を公募したいと思います。

下記の要領で、奮って写真をご応募ください。
お待ちしております。

募集要項

募集写真：白黒またはカラー写真

焼き付け または 添付ファイル

題 材：風景、季節、催事を扱ったもの

提出時期：随時

提出先：

〒110-0016 東京都台東区台東 3-16-1

東京都製紙原料協同組合 事務局

TEL 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

E-mail : info@kosi-tokyo.or.jp

ご質問等は、事務局までお気軽にご連絡ください。

広報誌掲載の広告募集について

*組合では、広く業界関係各社から広報誌の広告掲載を募集しております。

広告スペース、場所、料金等の詳細につきまして組合事務局までお問合わせください。

東京都製紙原料協同組合

電 話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

「表紙の言葉」

マリーナ・ベイ・サンズ／シンガポール



2010年4月に、マリーナ・サウスにオープンした、シンガポールで2番目となる公益カジノを有する複合施設が、マリーナ・ベイ・サンズ。3棟の高層タワーの頂上を、船型の庭園でつなぐというかなり個性的なホテル。まるで、3つの高層タワーの頂上をつなぐ空中船のようです。この高層タワー内では、カジノ、ホテル、ショッピングセンターなど施設あります。

シックでゴージャス感あふれるサンズのカジノには、6種のゲームがスタンバイしていて、レストランやバー、ライブのあるラウンジなども併設されているので、カジノ以外にも楽しめます。

地上200m、55階建ての3つの高層タワーからなり、客室からは南シナ海や美しいシンガポールの街並みなどが一望できる絶景ホテルでもあります。

同ホテルの中で特に注目なのが、3つのタワーの頂上部分をつないだ、約340メートルの船型庭園。地上200メートルという高さにおいては、世界最大級のプールも完備され、南シナ海、眼下にシンガポール全土を見渡しながらの空中遊泳?!を堪能できます。プールは宿泊客のみの利用ですが、展望台へは一般客でも入場が可能。日没後なら、素敵な夜景とともに花火が見られる日もあります。

編集後記

広報部部长 清水 弘允

「事実は小説より奇なり」と言うが、世の中で起こる事件にはいつも驚かされる。

上場会社の会長が100億を超える金を会社から借りてギャンブルに走ったり、同じく上場会社が10年以上前の投資に失敗して巨額損失を出し、「飛ばし」の手口を使って穴埋めしようとして、人間性悪説に軍配をあげたくなる事例が多く報道されている。

ギャンブルと言えば元々はヨーロッパが発祥の地でモナコが有名だ。米国ではラスベガスが有名で、アジアでは韓国、マカオ、シンガポール、マレーシアと広がって繁盛している。人間にとって

射幸心は、時にコントロールを超えた力を持っているのだろう。麻雀でも言える事だが、勝っても負けても引き時が難しい。

ところで大きな失敗とか変化は、或る意味分かり易いし対策も取りやすいが、気が付かない内に、じわじわと起こる変化は、なかなか対応が難しい。

その点、古紙業界はどうだろうか。古紙の発生は平成19年を境に落ち込んでいるが、それが突然ではなく、じわじわ起きていると、つい暫く待てばまた良くなると期待してしまう。日本のような成熟した社会では製紙産業の伸びは人口の伸びと連動する。日本の人口が減少する中、紙・板紙の需要が伸びるとは思えない。それを前提に経営を考えなければいけないだろう。

囲碁の世界で「着眼大局 着手小局」と言う言葉がある。

手は打たなければいけない。しかしまず大局観を持たなければならず、その上で小さな事から着実に実行していく事の教えであり、小手先の手を打つと痛い目に遭うと言う戒めであろう。

その意味では経営も同様で、世の中の動き、業界の動きにアンテナを伸ばし大局観を持たねばいけない。その為にも組合活動、支部活動には積極的に参加し、なるべく多くの情報を得て、その中から自社の器にあう選択をされたらどうだろうか。

東京協組も組合員の減少がとまらない。関連団体も同様の傾向である。流れに掉さず訳ではないが、組合活動が個々の組合員のプラスになるよう更なる工夫が必要である。そして同時に組合員も積極的に組合を利用しなければ、得る物はない。